

船橋会事務所

〒156-0055 世田谷区船橋 1-40-6

会長 妹尾 廣子

Tel/fax 03-6794-3145

編集 平野 千晶

船橋会ホームページ

http://www.funabashikai.com

## 地域防災力を高めるために

～助け合う地域づくり～

船橋会では地域の防災力を高めるために、一年を通して様々な形で訓練を行っています。

**避難所体験訓練**…避難所の運営は町会が主体となりますが、避難してきた住民が協力して運営行動を進めなければならないと考え、多くの方に避難所の運営を体験してもらっています。

今年度は7月2日(土)に開催し、100名ほどの方が参加されました。

**防災運動会**…従来の防災訓練にとらわれず、楽しみながら防災の知識・技術を学んでもらう新しい防災訓練です。運動会という形で世代を超え協力・交流し、地域がつながることを目指しました。

今年度は10月22日(土)に開催し、参加者約300名でした。詳しくは2、3ページをご覧ください。

**スタンドパイプ訓練**…初期消火時、住民が活用できる消火資器材を船橋会では9台所有しています。設置場所周辺で操作方法を訓練します。

### スタンドパイプ訓練開催予定

スタンドパイプ設置場所から移動して訓練を行います。お近くの集合場所にお集まりください。

日程	時間	集合場所
2月12日(日)	10時～11時30分	区立2丁目公園
	1時30分～3時	大内様宅
2月19日(日)	10時～11時30分	フレッシュ前
	1時30分～3時	船橋まちづくりセンター
2月26日(日)	10時～11時30分	千歳船橋駅前広場
	1時30分～3時	区立船橋地区会館
3月6日(月)	10時～11時30分	ボンセジュール前
	2時～3時30分	社会福祉法人嬉泉 園庭
3月12日(日)	10時～11時30分	オーランド・ヴー
	1時30分～3時	区立かどっこ広場公園

開催日程、場所は変更となることもございます。詳しくは後日、ご案内申し上げます。

## スタンドパイプとは？

首都直下地震など大規模な地震が発生した場合、同時多発する災害や倒壊建物などに道を阻まれ、災害現場に消防隊がすぐに到着できるとは限りません。その時は、地域住民が協力して消火にあたる必要があります。いざという時、住民が活用できる消火資器材のひとつがスタンドパイプです。スタンドパイプは、道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行います。軽量で操作も簡単、消防車が進入できない道路の狭い地域や木造住宅密集地域でも近くの消火栓等を使って消火活動ができます。(東京消防庁 HP より)

消火栓は船橋会町内に151か所あります。ご自身でご自宅近くの消火栓を確認してください。



スタンドパイプとホース



消火栓に差し込む



スタンドパイプとホースをつなぐ



放水開始

# 防災運動会開催

楽しみながら防災の知識・技術を学んでもらう新しい防災訓練です。運動会という形で世代を超え協力・交流し、地域がつながることを目指しました。

朝8時、世田谷区立船橋小学校校庭には船橋会の役員の姿がありました。消防署員、地域の団体の皆さんが続々と集まり、9時には沢山のスタッフが準備に当たっていました。なんといっても初めての試みの「防災運動会」、役員会・消防署員との打ち合わせ・実行委員会も2度ほど行ったものの、どのような形になるのか、誰もが不安を胸に抱えながらの当日の朝を迎えました。受付スタートの9時30分には沢山の参加者が集まってきました。通常の訓練と違い5人1組でチームを作ります。一般参加者はその場でチームを作りますが、初めて顔を合わせた人も今日は仲間、これがこの運動会の目的の一つです。



10時の開会式の後、消防団員の方によるデモンストレーションが行われました。消防団員の動きを見る参加者の皆さんの目は真剣そのものです。その後、それぞれの訓練へ移りました。



がれきの中から救出！ジャッキアップは思ったより時間が掛かります。＜救出訓練＞



D級ポンプを使って水を吸い上げ放水。船橋会でも1台所有。＜D級ポンプ訓練＞



煙が充満、前も見えない！ハンカチを使い体勢を低くして進みます。＜煙中訓練＞



水の入った消火器を一斉放水！＜消火器訓練＞



三角巾を触るのが初めての人も。＜三角巾訓練＞



普段あまり食べない缶詰も食べてみるとおいしい！＜防災食試食コーナー＞



防災グッズ、どんなものが有効か防災士の方のお話を伺いました。＜防災グッズコーナー＞



耐震免振の話をも型を使って区職員の方から説明＜耐震・免振コーナー＞

競技が始まるまでの時間にたくさんの訓練ブースを回る人の姿が見られました。これはこの後、競技の中で自分が学んだことを披露することへの責任感と、スタンプラリー形式のため決められた時間にたくさんまわりたいという思いの相乗効果だったと思います。



10時20分、いよいよ競技スタート！アナウンスにより最初に競技に参加するチームがスタート地点に集合します。「速さを競うものではありません。」「訓練した成果を発揮してください。」説明にうなづく選手たち。最初は消火器訓練。水の入った消火器で的を狙って放水。判定員のOKが出るまで、放水は行います。次にD級ポンプへ移動。エンジンが掛かるまでが今回の競技内容です。そのあとはがれきに見立てた段ボールをジャッキアップします。ジャッキの操作は簡単でも簡単には上がりません。(消防署員の方が足を乗せて加重しています！)こちらから判定が出るまでがんばります。がれきから救出した人に応急手当をしなければなりません。そこで三角巾訓練です。けが人役の方に三角巾を巻きます。そしてけが人の方を毛布と竿を使って作った簡易担架で運びます。うまく運べたら、最後は5人でゴール。景品(防災グッズ)が入った袋をもらいました。



競技は最後には飛び入り参加も加わり、14レース・55チームが参加くださいました。訓練なのに最後にはついつい笑顔がこぼれる運動会となりました。

閉会式ではゴールでもらったカードの数字から、また別の景品が当たるというサプライズに歓声が挙がりました。即席で作ったチームで競技に参加してもらったのは、いざというとき住民同士で協力し被害を防ぎ、減少させる「共助」につながると思ったからです。そして子どもを大人も一緒になって参加をし、いざというときどうすればいいかシュミレーションしてもらいたかったのです。いつ何時起こるかわからない災害、子どもがいるから、高齢者が一緒だから動けないでは困ります。一緒だからこそどう行動すればいいか、考えることが大事だと思います。始まるまでうまく運営できるのか不安だった「防災運動会」、終わってみると「楽しかった」「また参加したい」の声が多く寄せられました。消防署員また消防団の皆さま、実行委員としてご準備くださった皆さま、そして参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。



防災運動会の会場のあちらこちらには世田谷区立船橋希望中学校の生徒の皆さんの姿がありました。競技の準備にあたる中学生、スタンプラリーのスタンプを押す中学生、最後にお土産を配る中学生。もちろん、一般参加者と一緒に訓練や競技にも参加をしてくれました。これは船橋会からの呼び掛けに応え、申し込んでくれた生徒と部活動の単位で参加してくれた生徒60名でした。

平日の昼間、もし災害が起きたら、働き盛りの年代の方は仕事で自宅を離れ、住宅地である船橋の町には小さなお子さん連れの方や高齢者が多くいるのではないのでしょうか。そんなとき、もしかしたら一番力になってくれるのは中学生や高校生かもしれません。今回の訓練を見ていて、その活躍には目を見張るものがありました。その活解力と行動力を兼ねそろえた若い力には今後一層の期待が掛かります。これから住みよいまちづくりを力貸してください。



音楽が流れるまち ふなばし

# ハッピーコンサート

12月3日13時30分から世田谷区立船橋小学校で船橋会主催「ハッピーコンサート」を開催しました。毎年恒例となった、このコンサートには今年は船橋在住の音楽家・小笠原育美さんをご出演くださいました。小笠原さんはNHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」に伴奏のおねえさんとして7年間出演、現在はNHK BSプレミアム「ワンワンパッコロキャラともワールド」に出演、その他テレビ出演やライブ活動など多方面でご活躍です。

暖かな日差しが差し込む土曜日の午後、会場にはベビーカーを押す親子連れの姿がありました。またお孫さんと一緒におじいちゃん、おばあちゃんも足を運んでくださり、約80名の方で会場はいっぱいとなりました。

素敵なピアノ演奏でスタートしたコンサートは、途中童謡をみんなで歌ったり、手遊び歌にお子さんより大人が真剣に挑戦したりと会場はすぐに小笠原ワールドで一体となりました。



優しい歌声と軽快なトーク、そしてご自身作曲のピアノ曲に皆さん癒された様子でした。また「ドレミの歌」の替え歌を作り歌ったり、手拍子でリズムを取ってピアノ曲と合わせたり、盛りだくさんの内容に楽しい時間はアツという間に過ぎました。



小さなお子さん連れでは遠方の会場や敷居の高いコンサートには行けない方も気軽にご家族で楽しんでもらえる、そんな素敵な会となりました。

今後も船橋会では会員の皆さんに喜んでもらえる企画を考えていきたいと思ひます。

